

「道内の感染状況」等に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

1-①

クラスターの発生している施設等の周辺の地域での検査体制を強化することが必要。

1-②

もっと厳しく、道民の意識の変革と人流抑制に力を注いでほしい。

1-③

医療提供体制の逼迫状況について、より理解を深めることで感染予防対策の徹底が図られるよう、確保病床数と入院患者数及び病床使用率のこれまでの推移を重症者用病床とその他病床に区分し、グラフ等で分かりやすく示すことにより、病床確保の経過と入院患者の急増による病床の逼迫の度合いがより明確に伝わるのではないかと考える。

1-④

医療・福祉施設におけるクラスターが多く発生している。多くはリハビリやデイサービスの利用者、職員の家族からの感染と聞いており、このことは、病院や施設では防ぎようがなく、感染拡大を阻止することで精一杯となっている。ワクチン接種の迅速な対応と道民に今一度感染対策の徹底を呼び掛けてほしい。

1-⑤

札幌市内の感染者数増加が続き、札幌の医療提供体制が深刻な状態になっていると思われ、自宅療養者のフォローなど、道として連携カバーできることがあれば対応していただきたい。

若年者への感染拡大傾向が見られ、年代別の対策（学校関連対策など）をさらに講じていくことも必要と思う。
職場関連での検査実施など検査体制の充実をさらに進めるべき。

2 市町村・関係団体の意見

2-①

緊急事態措置の延長も視野に、週末の外出を控えるなど、これまでの取り組みを市町村と連携して進めてほしい。

2-②

本対策本部会議資料に、今現在、公開している情報に加え、道民の注意を喚起し、対策の徹底を促す観点で振興局単位の感染状況データを付け加えられ、あらゆる機会を捉え、感染拡大抑止に向けて情報発信する姿勢を示されることを期待したい。